

施策	7201 人権の尊重							
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	適正		
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有		
対象	市民							
施策が目指す姿	人権を尊重するために、人権教育・啓発の推進、研修・講座等の実施、人権相談事業の推進等を図る。							
成果指標	講演会等出席者数 29年目標 2,800人 (現状値2,250人)							
目 標 達 成 状 況		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
	成果指標1 [人]	予定	2,000.00	2,250.00	2,400.00	2,600.00	2,800.00	
		実績	2,400.00	3,000.00	3,000.00	3,000.00	2,763.00	
	成果指標2 []	予定						
		実績						
	成果指標3 []	単位コスト						
		予定						
	成果指標4 []	実績						
		単位コスト						
	トータルコスト (千円)	予定	83,526	90,742	86,394	85,792	89,793	
実績		83,330	88,868	85,613	84,127	89,211		
内 部 評 価	貢献度	上位施策の目標指標を高めるためには啓発や広報等を通じ広く市民の意識を高めることが必要であるため本単位施策の目標達成による貢献度は高い。						
	達成状況	講演会等への出席者数の29年度目標値である2,800人に対し、2,763人と目標値の達成には至らなかった。						
	課題	人権尊重への意識を高めていくため、近年の参加者数を維持、さらには増加できるよう工夫をしていく必要がある。						
	取組方針	人権に関するテーマの内容や講師等を含め講演を工夫し、参加者の増加につなげたい。また、小中学校での人権教育の継続的な実施を担当部局と連携の上働きかけていく。						
外 部 評 価	<p>「人権」というと、難しいというイメージを持っている市民の方が多いと思われる。職員からの今後の取り組み方針にもあるようにテーマや講師等を含め工夫し、参加者の増につなげたいとあるが、楽しめながら学べるような機会を作っていただきたい。</p> <p>最近では、福祉施設での傷害事件や子どもの虐待問題など、多くのメディアで取り上げられているが、やはり重要なものは教育だと思われるので、小・中学生に人権教育の充実をお願いしたい。また、DVの問題も大きいと思われるので、直ぐに相談出来る窓口等の周知を徹底していただきたい。</p>							
単 位 施 策 達 成 の た め の 事 務 事 業	事業コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度	
	100101	人権・男女共同参画課一般経常事務費				13,127	100	
	103101	人権同和対策委託費				14,872	100	
	103201	人権同和対策補助金				4,610	100	
	103301	隣保館運営事業費				18,665	100	
	103401	隣保館相談事業費				8,075	100	
	100201	人権問題啓発事業費				7,584	99	
	104002	隣保館管理費				10,643	92	
	100301	人権擁護費				6,916	79	
	755001	人権施策推進プラン第2期計画策定事業費				4,719	10	
763302	大平隣保館身障者用トイレ改修事業費					0		

平成29年度 単位 施策評価表 補表

施策	7201 人権の尊重		
区分	妥当性	妥当	人権擁護は、市の重要な役割のひとつであり妥当である。
	コスト削減の余地	有	既にコストの削減に取り組んでいるが、見直しの余地はある。
	受益者負担	適正	人権施策は、普及啓発の事業であり、受益者負担はなじまない。
	上位貢献度	有効	基本的人権の尊重を実現するためには、人権教育や啓発の積み重ねが重要であるため有効である。
	類似事業の有無	無	人権の啓発を行う事業は多数あるが直接的に人権施策を取り扱う事業としては類似事業はない。
	成果向上の余地	有	様々な内容の人権啓発や対象を変えるなどにより、成果向上の余地はあると思われる。
内部評価 【H29年度分】	貢献度	上位施策の目標指標を達成していくために本施策を継続的・重点的に行い、市民の人権に対する意識の高揚を図る必要があり、本施策が目標を達成することによる上位施策への貢献度は高い。	
	達成状況	講演会など数多くを実施しており、参加者の人権意識の高揚に効果的であるが、平成29年度においては、2,763人と目標値の達成には至らなかった。しかし、「市民の集い」における柔道の金メダリストによる人権講演では、子どもの参加が見られたことに成果を見ることができた。	
	課題	対象者を絞っての研修やテーマによる対象者選び等、参加者が偏らず、講演会等への参加してもらうように心掛けている。この参加者を維持し、さらには増加させるため、講演会の多様化も検討し、根気強く継続的に啓発活動を実施していく必要がある。	
	取組方針	「人権」が身近な問題であることを認識してもらえよう、人権に関するテーマ内容や講師等を含め研修・講演等を工夫し、参加者の増加につなげ意識啓発に努めていく。また、小中学校でも人権は身近なこととして学んでもらうよう、人権教育の継続的な実施を担当部局と連携の上働きかけていく。	
内部評価 【前期5年分】	貢献度	上位施策の目標指標を達成していくために本施策を継続的に行い、市民の人権に対する意識の高揚を図る必要があり、本施策が目標を達成することによる上位施策への貢献度は高い。	
	達成状況	平成29年度においては、2,763人と目標値の達成には至らず残念ではあるが、過去各年度の目標値を達成することができた。	
	課題	参加者を維持し、さらには増加させるため、対象者を絞っての研修や多様なテーマによる講演会を検討し、根気強く継続的に啓発活動を実施していく必要がある。 また、基本施策の指標としては、少々わかりづらい面もあり、指標を見直すことも必要である。	
	取組方針	「人権」が身近な問題であることを認識してもらえよう、研修や講演会の工夫とともに、根気強く継続的に教育・啓発活動を実施していく。	